

2025. 6. 14 第 296 回静岡県病理医会 症例用紙

【演題】小腸腫瘍の一例

臓器分類：小腸、腹膜

病院名：磐田市立総合病院

供覧者：松島夏海、大西一平、鈴木潮人、藤広麻由、馬場聡

【症例】 60 歳代女性

【臨床診断】 小腸腫瘍

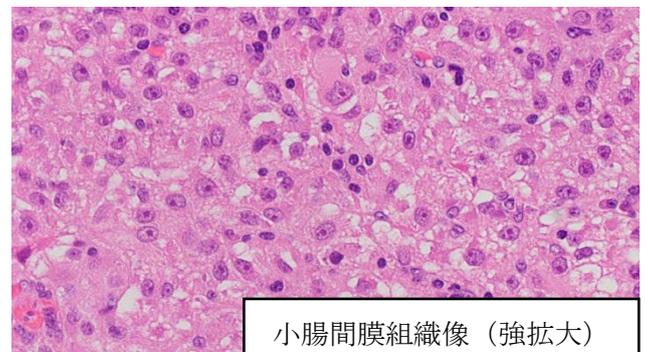
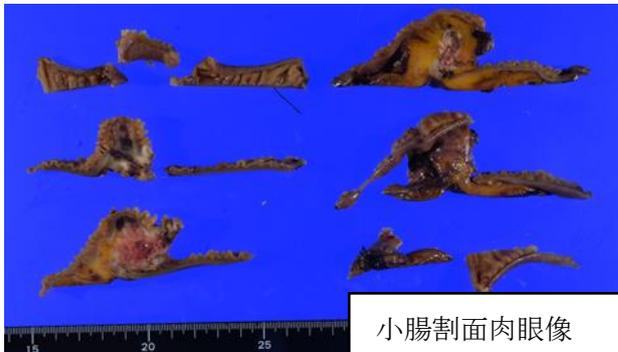
【臨床経過】 腹部痛、嘔気を主訴に、当院を受診した。その際、画像検査にて小腸に腫瘍が指摘され、腹腔鏡下小腸切除術が施行された。術後 7 か月時、画像検査にて複数の腹膜結節が認められ、診断確定目的で、腹膜結節性病変に対し腹腔鏡下切除術が施行された。

【検査成績】 特記事項なし

【肉眼所見】

小腸：境界不明瞭な灰白色調の長径 2.5 c m 大の結節

腹膜結節：表面平滑な隆起性病変



【画像所見】

発症時の造影 CT では、小腸を取り囲む腫瘍がみられた。小腸切除術後 7 か月時の造影 CT では、腹壁に複数の結節が認められ、腹膜播種が疑われた。